



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月14日

上場会社名 株式会社L i s B 上場取引所 東
 コード番号 145A URL <https://l-is-b.com/ja/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長CEO（氏名） 横井 太輔
 問合せ先責任者（役職名） 取締役CF0コーポレート本部長（氏名） 北嶋 正樹（TEL）03(5812)4735
 半期報告書提出予定日 2026年8月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	1,371	33.4	151	63.1	133	62.3	112	84.7
2025年12月期中間期	1,028	—	92	—	82	—	60	—

（注）包括利益 2026年12月期中間期 112百万円（84.7%） 2025年12月期中間期 60百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	21.95	—
2025年12月期中間期	11.90	—

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	3,443	1,978	57.4
2025年12月期	3,425	1,847	53.9

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 1,978百万円 2025年12月期 1,847百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年12月期	—	0.00	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,823	32.4	266	57.8	240	63.3	180	30.2	35.11

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年12月期中間期	5,147,665株	2025年12月期	5,124,800株
② 期末自己株式数	2026年12月期中間期	一株	2025年12月期	一株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年12月期中間期	5,133,390株	2025年12月期中間期	5,124,800株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）キャッシュ・フローに関する説明	3
（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
（1）中間連結貸借対照表	5
（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
（4）中間連結財務諸表に関する注記事項	11
（継続企業の前提に関する注記）	11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	11
（セグメント情報等）	12
（企業結合等関係）	12

1. 当中間決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

（1）経営成績に関する説明

当社グループは、「アイデアとテクノロジーで人々を笑顔にする！」をミッションとし、徹底した顧客志向のもと、顧客の課題をDX（デジタルトランスフォーメーション）を通じて解決するために、現場のビジネスチャット「direct（ダイレクト）」をはじめとしたサービスを、ストック収益を基盤とした現場DXプラットフォームとして提供しています。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調にある一方で、海外情勢の不確実性や物価変動の影響が続いております。当社グループが主なターゲットとする建設業界においては、底堅い建設需要が見込まれる一方、深刻化する人手不足や資材価格の高騰に加え、時間外労働の上限規制等への対応が求められております。こうした環境下、業界全体として生産性向上が重要な経営課題となっており、現場DXへの関心は一層高まっております。

当社グループは、顧客課題を解像度高く把握し、サービス開発に速やかに反映することを強みとしております。こうした強みを背景に、当中間連結会計期間においては、主力サービス「direct」のID数増加や「direct」と連携するサービスのクロスセルの推進に加え、2026年4月に実施した「direct」の価格改定を通じて、顧客基盤の拡大および顧客単価の上昇に努めてまいりました。また、前連結会計年度に子会社化したIU BIM STUDIO株式会社の業績が当中間連結会計期間を通じて連結業績に寄与しております。

これらの結果、当中間連結会計期間の末日におけるARR（注1）は2,127,808千円、ストック売上比率（注2）は95.3%、当社サービスの契約社数（注3）は711社となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は1,371,712千円（前年同期比33.4%増）、営業利益は151,013千円（前年同期比63.1%増）、経常利益は133,701千円（前年同期比62.3%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は112,652千円（前年同期比84.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（DXソリューション事業）

現場のビジネスチャット「direct（ダイレクト）」の顧客基盤の拡大に向けた営業活動に注力するとともに、現場向けカメラ・クラウド共有サービス「タグショット／タグアルバム」や現場業務のノウハウを動画で簡単に共有するサービス「ナレッジ動画」の利用拡大に努めてきました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は1,371,712千円（前年同期比33.4%増）、セグメント利益は156,445千円（前年同期比61.9%増）となりました。

（投資事業）

当社グループの中長期的な成長に向けて、当社グループとのシナジー創出又は財務的なリターンが見込まれるスタートアップ企業の発掘および検討に注力するとともに、新規投資を実行いたしました。当中間連結会計期間においては、ファンド運営に係る費用を計上した結果、セグメント損失5,431千円（前年同期比－%）となりました。

（注）1. ARR：Annual Recurring Revenueの略称。各期末の月次ストック売上を12倍して算出。

2. スtock売上比率とは、売上高全体に占めるストック売上の割合を指します。

3. 契約社数とは、OEMを除き、当社のサービスを有償で契約している契約元企業の社数を指します。1社の契約に対し、当該企業の外部委託先など複数の会社が利用しているケースがありますが、契約社数は1社とカウントしております。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末における資産合計は3,443,990千円となり、前連結会計年度末に比べ18,097千円増加いたしました。

流動資産は2,238,564千円となり、前連結会計年度末に比べ2,510千円増加いたしました。これは主に、仕掛品が7,061千円増加した一方で、売掛金及び契約資産が5,577千円減少したことによるものであります。

固定資産は1,205,426千円となり、前連結会計年度末に比べ15,586千円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が35,037千円、ソフトウェア仮勘定が32,593千円、繰延税金資産が16,035千円増加した一方で、のれんが27,399千円、保険積立金が20,519千円、ソフトウェアが16,450千円減少したことによるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債合計は1,465,651千円となり、前連結会計年度末に比べ112,272千円減少いたしました。

流動負債は486,611千円となり、前連結会計年度末に比べ7,449千円減少いたしました。これは主に、契約負債が69,882千円、未払法人税等が8,671千円増加した一方で、短期借入金が30,000千円、未払消費税等が21,423千円、未払金が10,331千円、１年内返済予定の長期借入金が8,640千円減少したことによるものであります。

固定負債は979,039千円となり、前連結会計年度末に比べ104,823千円減少いたしました。これは主に、長期借入金が99,372千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は1,978,339千円となり、前連結会計年度末に比べ130,370千円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が112,652千円、資本金が8,860千円、資本剰余金が8,860千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は57.4%（前連結会計年度末は53.9%）となりました。

（３）キャッシュ・フローに関する説明

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ39,544千円減少し、1,374,241千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は141,145千円となりました。

これは主に、増加要因として、税金等調整前中間純利益134,961千円、契約負債の増加額69,882千円、のれん償却額27,399千円、減価償却費24,000千円、支払利息11,935千円、投資事業組合運用益7,702千円発生したものの、一方で、減少要因として、その他の流動負債の減少額44,761千円、その他の流動資産の増加額40,813千円、法人税等の支払額35,880千円、利息の支払額11,935千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は42,642千円となりました。

これは主に、増加要因として、保険積立金の解約による収入26,882千円、投資有価証券の売却による収入13,600千円、貸付金の回収による収入12,225千円が発生したものの、一方で、減少要因として投資有価証券の取得による支出63,806千円、無形固定資産の取得による支出32,593千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は138,047千円となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出108,012千円、短期借入金の返済による支出30,000千円等によるものであります。

（４）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の業績予想につきましては、2026年2月13日に公表いたしました業績予想の数値から変更はありません。当資料に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

（1）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,779,306	1,740,387
売掛金及び契約資産	403,775	398,198
仕掛品	1,016	8,077
貸倒引当金	△59	—
その他	52,014	91,900
流動資産合計	2,236,053	2,238,564
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	61,176	58,676
工具、器具及び備品（純額）	16,949	17,262
機械装置及び運搬具（純額）	4,639	3,050
土地	25,695	25,695
有形固定資産合計	108,461	104,685
無形固定資産		
ソフトウェア	47,690	31,239
ソフトウェア仮勘定	1,642	34,236
のれん	486,971	459,572
無形固定資産合計	536,304	525,048
投資その他の資産		
投資有価証券	410,249	445,287
繰延税金資産	48,632	64,667
保険積立金	35,191	14,671
差入保証金	46,351	45,432
その他	4,648	5,634
投資その他の資産合計	545,072	575,692
固定資産合計	1,189,839	1,205,426
資産合計	3,425,892	3,443,990

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,177	22,712
短期借入金	30,000	—
1年内返済予定の長期借入金	144,720	136,080
未払金	42,634	32,302
未払法人税等	49,064	57,736
未払消費税等	63,762	42,338
契約負債	48,318	118,201
賞与引当金	20,097	19,767
その他	71,286	57,473
流動負債合計	494,061	486,611
固定負債		
長期借入金	1,065,938	966,566
資産除去債務	2,351	2,355
繰延税金負債	15,417	9,996
その他	156	120
固定負債合計	1,083,862	979,039
負債合計	1,577,924	1,465,651
純資産の部		
株主資本		
資本金	629,867	638,727
資本剰余金	2,003,537	2,012,397
利益剰余金	△785,529	△672,877
株主資本合計	1,847,874	1,978,246
非支配株主持分	94	92
純資産合計	1,847,968	1,978,339
負債純資産合計	3,425,892	3,443,990

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年1月1日 至 2026年6月30日）
売上高	1,028,187	1,371,712
売上原価	358,007	517,071
売上総利益	670,180	854,641
販売費及び一般管理費	577,591	703,627
営業利益	92,588	151,013
営業外収益		
受取利息	1,098	1,984
投資事業組合運用益	—	739
受取保険金	29	11
助成金収入	650	200
その他	224	238
営業外収益合計	2,002	3,173
営業外費用		
支払利息	6,338	11,935
投資事業組合運用損	5,887	8,442
その他	—	108
営業外費用合計	12,225	20,486
経常利益	82,364	133,701
特別利益		
固定資産売却益	—	1,544
特別利益合計	—	1,544
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却損	—	284
特別損失合計	0	284
税金等調整前中間純利益	82,364	134,961
法人税、住民税及び事業税	26,975	43,767
法人税等調整額	△5,600	△21,456
法人税等合計	21,375	22,311
中間純利益	60,988	112,650
非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△2	△1
親会社株主に帰属する中間純利益	60,991	112,652

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年1月1日 至 2026年6月30日）
中間純利益	60,988	112,650
中間包括利益	60,988	112,650
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	60,991	112,652
非支配株主に係る中間包括利益	△2	△1

（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年1月1日 至 2026年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	82,364	134,961
減価償却費	17,781	24,000
のれん償却額	5,104	27,399
株式報酬費用	—	4,430
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△156	△59
賞与引当金の増減額（△は減少）	13,812	△329
受取利息及び受取配当金	△1,098	△1,984
支払利息	6,338	11,935
有形固定資産売却損益（△は益）	—	△1,544
助成金収入	△650	△200
投資有価証券売却損益（△は益）	—	284
投資事業組合運用損益（△は益）	5,887	7,702
有形固定資産除却損	0	0
保険解約返戻金	△29	△3,428
売上債権の増減額（△は増加）	19	5,577
棚卸資産の増減額（△は増加）	△1,842	△7,067
仕入債務の増減額（△は減少）	1,125	△1,465
契約負債の増減額（△は減少）	26,195	69,882
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△23,712	△40,813
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△13,494	△44,761
その他	1,045	2,108
小計	118,691	186,629
利息及び配当金の受取額	888	2,131
利息の支払額	△6,338	△11,935
助成金の受取額	650	200
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△12,923	△35,880
営業活動によるキャッシュ・フロー	100,967	141,145
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,676	△4,770
有形固定資産の売却による収入	—	2,524
投資有価証券の取得による支出	△25,000	△63,806
投資有価証券の売却による収入	—	13,600
無形固定資産の取得による支出	△14,837	△32,593
長期前払費用の取得による支出	△400	—
貸付金の回収による収入	—	12,225
定期預金の預入による支出	△302,106	△2,125
投資事業組合からの分配による収入	—	6,354
差入保証金の差入による支出	△150	—
保険積立金の積立による支出	△1,053	△933
保険積立金の解約による収入	27,383	26,882
投資活動によるキャッシュ・フロー	△319,839	△42,642

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年1月1日 至 2026年6月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△20,000	△30,000
長期借入金の返済による支出	△37,875	△108,012
その他	100	△35
財務活動によるキャッシュ・フロー	△57,775	△138,047
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△276,647	△39,544
現金及び現金同等物の期首残高	1,871,411	1,413,785
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,594,764	1,374,241

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前中間連結会計期間（自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			中間連結 損益計算書 計上額 （注）
	DXソリューション 事業	投資事業	計	
売上高				
ストック売上	848,004	—	848,004	848,004
プロフェッショナルサービス その他	180,183	—	180,183	180,183
投資収益	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	1,028,187	—	1,028,187	1,028,187
外部顧客への売上高	1,028,187	—	1,028,187	1,028,187
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,028,187	—	1,028,187	1,028,187
セグメント利益又は損失（△）	96,639	△4,050	92,588	92,588

（注）セグメント利益又は損失（△）の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当中間連結会計期間（自 2026年1月1日 至 2026年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			中間連結 損益計算書 計上額 （注）
	DXソリューション 事業	投資事業	計	
売上高				
ストック売上	1,199,011	—	1,199,011	1,199,011
プロフェッショナルサービス その他	172,701	—	172,701	172,701
顧客との契約から生じる収益	1,371,712	—	1,371,712	1,371,712
外部顧客への売上高	1,371,712	—	1,371,712	1,371,712
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,371,712	—	1,371,712	1,371,712
セグメント利益又は損失（△）	156,445	△5,431	151,013	151,013

（注）セグメント利益又は損失（△）の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

（企業結合等関係）

2025年10月31日付で取得しました、IU BIM STUDIO株式会社の取得原価配分につきまして、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行いました。当中間連結会計期間においても、取得原価の配分が完了していないため引き続き暫定的な会計処理を行っております。